

貴党名	立憲民主党
-----	-------

【政策提案と公開質問】

	＜提案＞	＜質問＞	＜回答＞
1. 食料・農業政策について			
<p>1) 食料自給力向上のために、農業政策の安定を求めます。</p>	<p>低迷を続ける食料自給率の向上を図るため、新規就農者を含め農業者が将来に希望を抱くことができ安心して持続的生産に取り組むことができるように、農業諸政策を法制化し恒久化することが必要です。</p>	<p>貴党の見解を教えてください。</p> <p>A: 賛成 B: 反対 C: 態度保留 D: その他</p>	<p>【記号選択】</p> <p style="text-align: center;">A</p> <p>【自由記述欄】</p> <p>食料自給率・自給力の向上を掲げた食料・農業・農村基本計画に基づき、持続可能な農業・農村づくりや国民理解の拡大に向け、力強い農業・農村政策を確立することが重要です。農業者戸別所得補償制度を復活させ、米の生産調整を政府主導に戻します。水田活用直接支払交付金を法制化し、恒久化を図ります。また直接支払制度の見直しを検討するなど、農業・林業・漁業の振興を図り、農山漁村が持つ多面的機能の発揮・強化を図ります。</p> <p>こうした取り組みを通じて、国民の生活に不可欠な食料などの安定供給の他、多面的機能の効果を都市から小さな町や村まで、国全体にめぐらせます。その循環を強くし、国民への理解増進を図り、食料自給率の向上と食料安全保障の強化を進めます。</p>
<p>2) 食料安全保障の確立に向けて、持続可能な農業の取り組みならびに支援策を早急に法制化することを望みます。</p>	<p>急激な気候変動による気候危機、農業従事者の高齢化や減少、新興国による食料品の買い占めなどから、とりわけ畜産業における飼料や資材の高騰が農業を衰退させています。現在、飼料の国産率は25%程度(濃厚飼料は1割強、粗飼料は8割弱)と乏しい実情であることから、国産畜産飼料の生産拡大に向けた具体的かつ中長期的な施策を早急にとりまとめ法制化することが必要です。</p>	<p>貴党の見解を教えてください。</p> <p>A: 賛成 B: 反対 C: 態度保留 D: その他</p>	<p>【記号選択】</p> <p style="text-align: center;">A</p> <p>【自由記述欄】</p> <p>食料自給率・自給力の向上を掲げた食料・農業・農村基本計画に基づき、持続可能な農業・農村づくりや国民理解の拡大に向け、力強い農業・農村政策を確立することが重要です。肥料・飼料・燃油など生産資材のセーフティネット対策の充実等、高騰対策強化を図りつつ、安定した供給体制の整備を図ります。</p>

	<提案>	<質問>	<回答>
3) 遺伝子操作食品の原料表示の義務化と、加工食品原料トレーサビリティの制度化を求めます。	消費者基本法ならびに食品表示法で掲げられた消費者の知る権利を実現するために、ゲノム編集技術を含め全ての遺伝子操作食品の原料表示の義務化、およびそれを担保するための加工食品原料トレーサビリティ制度の確立が必要です。(すでに日本の食品事業者の99%以上*が原料の出入荷記録を保存できています。) *一社)食品需給研究センター調べ(2020年)	貴党の見解を教えてください。 A:賛成 B:反対 C:態度保留 D:その他	【記号選択】 D 【自由記述欄】 安全・安心な農産物・食品の提供体制を確立するため、すべての加工食品を原料原産地表示の対象とすることを原則とし、食品トレーサビリティの促進、食品添加物、遺伝子組み換えやゲノム編集食品、アレルギー表示など、消費者が自ら安心・安全を選択できる食品表示制度となるよう見直しを進めます。
4) 「食品添加物の不使用表示に関する	任意表示である食品添加物の不使用表示は、原則と	貴党の見解を教えてください。	【記号選択】 A 賛成

	<提案>	<質問>	<回答>
<p>るガイドライン」運用を停止し、「一括名表示」の問題と一体的に検討し直すことを求めます。</p>	<p>して法令による規制の対象とすべきではありませんが、真つ当な不使用表示に紛れて、優良誤認を招く不適切な無添加表示*が市場にあふれているため、後者を排除するために標記のガイドラインが定められました。しかし、膨大な Q&A を提供しないと消費者にも中小規模事業者にも理解困難なルールとなっていました。難解なルールに陥ってしまった理由は、法令に基づく「一括表示」(枠内表示)の問題点を放置したまま、任意表示部分のみに対策を打とうとしたためです。問題点とは、「一括表示」における添加物「一括名表示」(「イーストフード」「アミノ酸等」など)の許容であり、添加物の使用実態を見えなくしている主因となっています。添加物「一括名表示」を減らし、用途名併記による添加物の物質名表示の原則を徹底すべきです。今回のガイドラインの運用を停止し、「一括名表示」の問題解決と一体的に検討し直すべきです。 ※ 例:保存料としての機能を有するグリシン(アミノ酸の一種)を使用しながら、添加物名を「グリシン(保存料)」と記載せずに「アミノ酸等」とし、任意表示で「保存料無添加」と記載。</p>	<p>A:賛成 B:反対 C:態度保留 D:その他</p>	<p>【自由記述欄】 不表示ガイドラインを一旦凍結し、消費者の選択の権利を狭めることのないよう、消費者の懸念をしっかりと受け止め、ガイドラインを見直すことと同時に、事業者が委縮し、「無添加」や「不使用」といった表示を掲げる商品の生産・開発が縮小することのないよう、規制の対象となる表示について、一層の明確化をすべきと考えます。</p>

2. エネルギー政策について			
1)原子力発電の即刻廃止、石炭火力	巨大なリスクを抱える原子力発電は即刻廃止し、石	貴党の見解を教えてください。	<p>【記号選択】 D</p>

	<提案>	<質問>	<回答>
発電の段階的廃止を求めます。	炭火力発電は段階的に縮小し 2030 年までに廃止すべきです。	A:賛成 B:反対 C:態度保留 D:その他	【自由記述欄】 気候危機対策を強力に推進し、2030 年の再生可能エネルギーによる発電割合 50%および 2050 年 100%をめざし、2050 年までのできる限り早い時期に化石燃料にも原子力発電にも依存しないカーボンニュートラル(温室効果ガス排出実質ゼロ)達成を目指します。
2)再生可能エネルギーの主力電源化の実現を求めます。	脱炭素社会に向けて、再生可能エネルギー主力電源化の実現に向けた推進と政策転換を早急にすすめるべきです。	貴党の見解を教えてください。 A:賛成 B:反対 C:態度保留 D:その他	【記号選択】 A 【自由記述欄】 ・2030 年までの期間に公的資金 50 兆円を集中的に投入、脱炭素社会を実現するとともに日本経済の構造変革、日本産業の成長分野における競争力強化を実現します。必要な資金を基金化することにより、機動的な財政支援を実現します。 ・産業社会のグリーン化を推進することにより、再生可能エネルギーや蓄電技術など新しい成長産業分野において 250 万人の新たな雇用の創出を目指します。 ・再生可能エネルギーへのシフトにより、エネルギーの海外依存を低減、エネルギー安全保障を強化します。化石燃料輸入を低減することにより海外流出していた資金を国内で循環させ日本の経済成長に繋がります。
3)再生可能エネルギーの最優先と柔軟性重視原則、公正な競争環境の整備を求めます。	再生可能エネルギーは日本において最も現実的かつ緊急性の高い脱炭素化の手段であり、その導入と活用を他のエネルギーに先んじて重点的に進めることが必要です。そのために再生可能エネルギーに親和的なエネルギーシステムや市場制度への改革を急ぐ必要があります。優先的な系統接続、優先給電、ベースロード電源を優先するルールや補助の撤廃、大手電力会社(既存電源や既存事業者)への配慮を廃止し再エネや新規事業者が公正に競争できる環境整備をすすめることを求めます。	貴党の見解を教えてください。 A:賛成 B:反対 C:態度保留 D:その他	【記号選択】 A 【自由記述欄】 再生可能エネルギーの大量導入の前提となる電力送電網について集中的な整備、運用の見直しを財政投入も含め国主導で進めます。電力システムのデジタル化、電力市場の機能強化・公正性の確保、デマンドレスポンスの活用といった電力システム改革をさらに進めます。

	<提案>	<質問>	<回答>
--	------	------	------

3. 福祉・たすけあい政策について			
1) 生活上弱い立場にある人々への食や住宅支援の強化を求めます。	コロナ禍における経済活動の長期低迷は、ひとり親家庭や非正規雇用の家庭に大きな影響を与えています。また、ウクライナへの軍事侵攻は食料・エネルギー・原材料輸入にも影響しインフレの懸念が高まっています。まずは国の政策として、生活困窮者への支援はもちろん生活困窮者に支援を行なっている団体への支援の強化を求めます。	貴党の見解を教えてください。 A: 賛成 B: 反対 C: 態度保留 D: その他	【記号選択】 A 【自由記述欄】 新型コロナウイルスの感染拡大の影響で減収した「ワーキングプア」の人、低年金者に臨時の給付金(5万円)を支給します。賃貸住宅の家賃については、給付条件を整理した上で月10,000円を補助します。生活困窮者等の空き家への入居およびその後の生活支援に取り組んでいるNPOに対して、財政的支援を行います。
2) 介護・保育関連従事者の基本報酬の引き上げによる待遇改善を求めます。	介護・保育関連の人手不足は深刻です。コロナ禍でエッセンシャルワーカーの重要性は認識されつつありますが平均賃金との溝はまだ埋まりません。ケアの質の低下やスタッフの負担増加や離職を防ぎ、魅力的な職場としていくためにも、基本報酬の引き上げを行なうことに取り組むことを求めます。	貴党の見解を教えてください。 A: 賛成 B: 反対 C: 態度保留 D: その他	【記号選択】 A 【自由記述欄】 介護・障がい福祉や放課後児童クラブ、保育等のベーシック・サービスの質・量を充実させるため、職員の処遇改善を図ります。政府の処遇改善策からさらに支給対象を拡大、支給額を増額(プラス月額10,000円)します。
3) 児童福祉法改正案を実行性のあるものにするための予算措置の拡充、および国のモデル提示などによる自治体間の格差是正を求めます。	今国会で議論されている児童福祉法改正案について評価いたします。改正案を実効性のあるものにしていくために、人件費や施設費等の予算措置拡大を確実に実行してください。また、児童自立支援事業に関する部分については現状で自治体間の格差が大きいため、国のモデル提示による是正などが必要です。	貴党の見解を教えてください。 A: 賛成 B: 反対 C: 態度保留 D: その他	【記号選択】 A 【自由記述欄】 立憲民主党は、児童福祉法改正案に賛成しました。成立した改正児童福祉法が適正に運用され、実効性のあるものとなるよう、必要な措置を講じるべきです。

4. 非営利協同セクターへの支援について			
1) 労働者協同組合振興のための基本	2022年10月1日に施行される労働者協同組合法	貴党の見解を教えてください。	【記号選択】 A

	< 提案 >	< 質問 >	< 回答 >
方針・政策の策定を求めます。	を機に、政府は政府広報や学校教育などを通じて、労働者協同組合をはじめ協同組合全体の認知度向上を図るとともに、労働者協同組合振興のための基本方針・政策を定めて必要な予算措置を執り、統計によって振興状況を点検し、基本方針・政策の強化を図っていくべきです。	A: 賛成 B: 反対 C: 態度保留 D: その他	【自由記述欄】 労働者協同組合法が円滑に施行され、労働者協同組合が広範に活用されるよう、国が積極的に広報活動を行うとともに、予算措置のあり方を検討した上で、プラットフォームづくりをはじめとした地域的取り組みを支援します。
2) 協同組合憲章と協同組合基本法の制定を求めます。	国連が掲げ推進をめざしている「社会的連帯経済」の一翼を担う協同組合全体を振興していくために、政府は協同組合憲章を、国会は協同組合基本法を制定すべきです。	貴党の見解を教えてください。 A: 賛成 B: 反対 C: 態度保留 D: その他	【記号選択】 D 【自由記述欄】 旧民主党政権時代に国会決議を目指した経緯があることもふまえ、ご提案の憲章、基本法については、前向きに検討していきたいと考えます。
3) 人格なき社団へのコロナ対策給付を求めます。	長期化するコロナ禍のなかで、人格なき社団として事業を営み納税義務を果たしてきた、地域に貢献し地域課題を解決するための非営利の任意団体が経営破綻のリスクに晒され続けています。これらの団体も「緊急事態宣言」・「まん延防止等重点措置」時のコロナ対策給付の支給対象に加えられるように、納税履歴と照合する仕組みの導入など支給要件の見直しを図ってください。	貴党の見解を教えてください。 A: 賛成 B: 反対 C: 態度保留 D: その他	【記号選択】 D 【自由記述欄】 自給化給付金についてはNPOなども対象となっていました。人格なき社団については多様なものがあること、社会にとっても有益な活動をしていることをふまえ、検討していきたいと考えます。

5. ロシアによるウクライナへの軍事侵略への対応について			
1) この機に乗じた憲法第9条の改定や核シェアリングなどを狙う政治的動きを排し、武力によらない平和外交でのリーダーシップを求めます。	いかなる戦争にも大義などありません。尊い命を奪い合う愚かな道を日本が二度と歩んではならない、どれだけ時が経とうとも、決して忘れてはならないことです。日本国憲法の不戦の意思を世界へ広げていくことこそ、世界の人々に期待されている日本の役割ではないでしょうか。日本政府に対して、武力によらない平和外交でのリーダーシップを求めます。この機に乗じて憲法第9条の改定や核シェアリングなどを狙う政治	貴党の見解を教えてください。 A: 賛成 B: 反対 C: 態度保留 D: その他	【記号選択】 A ロシアのウクライナへの侵略戦争は国際秩序を根底から揺るがす言語道断の蛮行です。 普遍的価値観を共有する国々と連携を一層深め、ロシアに対して厳しい制裁を科すとともに、ウクライナへの人道支援を積極的に行います。 早期停戦にむけて、外交努力を続けます。

	<提案>	<質問>	<回答>
	的動きに対して強い危惧を表明します。		